

2007 年 冬のボーナス予想調査結果

**昨年までの改善傾向がストップ、足踏み状態へ
～ 20代のみ「増えそう」との回答増～**

原油高騰等による物価上昇や公的負担増に伴い、家計におけるボーナスへの期待感は強いものと思われる。日本経団連の発表によると、大手企業の今冬ボーナスの受結額平均は、過去最高額を更新する見込みである（第 1 回集計時点）。一方で、他の調査機関では、民間企業を前年比マイナスとしているところも多く、心理的要素も加わり、年末商戦への影響が懸念される。

そこで、当研究所では本年も引き続き、熊本市内の生活者を対象にボーナス支給予想についてアンケートを実施した。

【調査結果のポイント】

1. 今年の冬のボーナス予想は、「増えそう」が昨年調査より 0.6 ポイント減少し 12.1%、「ほぼ同じ」が 1.2 ポイント減少し 68.8%、一方、「減りそう」は 1.9 ポイント増加して 19.2%となっており、若干厳しい見通しとなった。
2. 年代別に見てみると、20 代の「増えそう」(32.4%) が昨年より 17.5 ポイントも増加しており、その他の年代では「増えそう」との回答は減少している。特に 50 代・60 代の「減りそう」がそれぞれ 8.4 ポイント、15.5 ポイント増加しており、20 代とは対照的に厳しい見通しとなっている。

【調査概要】

調査時期：10 月 24 日～11 月 13 日

調査対象：熊本市内在住の女性 500 人

調査方法：郵送（「第 18 回熊本の消費予報調査」の一部として実施）

有効回答数：240（同調査で「ボーナス有り」と回答した人：有効回答率 48.0%）

回答者の属性

(1) 年代別

	人数	%
20代	34	14.2%
30代	78	32.5%
40代	67	27.9%
50代	50	20.8%
60代	11	4.6%
全体	240	100.0%

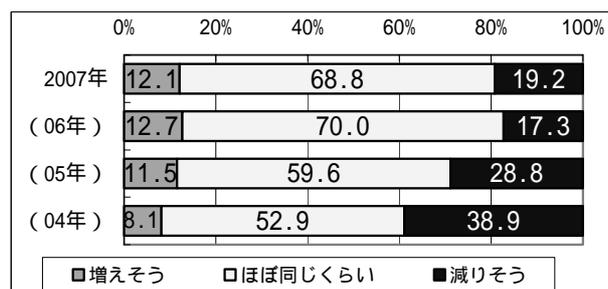
(2) 世帯主の勤務先別

	人数	%
民間企業	172	71.7%
うち県外企業	59	24.6%
うち県内企業	113	47.1%
公務員	45	18.8%
その他	23	9.6%
全体	240	100.0%

1. ボーナス支給予想

ボーナス見通しを尋ねたところ、「増えそう」は12.1%で昨年調査を0.6ポイントとわずかに下回った。逆に、「減りそう」は昨年までの改善傾向から一転、昨年より1.9ポイント増加し19.2%となった。また、「ほぼ同じ」は、1.2ポイント減少し68.8%となっている（図表1、2）。

図表1 ボーナスの支給予想

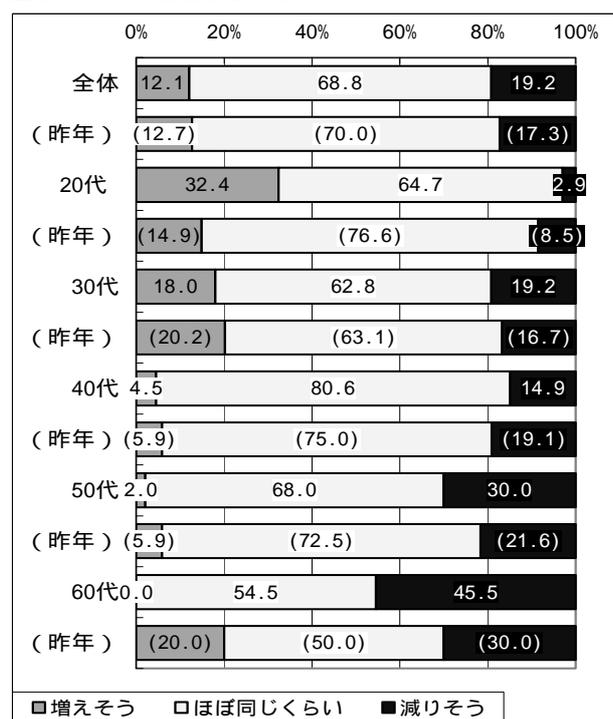


2. 年代別予想

年代別にみると、20代を除く全ての年代で「増えそう」が昨年より減少した。なかでも50代と60代がそれぞれ3.9ポイント、20.0ポイント減少し、逆に「減りそう」がそれぞれ8.4ポイント、15.5ポイント増加しており、厳しい見通しとなっている。

一方、20代では、「増えそう」が32.4%と昨年を17.5ポイントも上回っており、初任給の引き上げ傾向と同様に、唯一、見通しの明るさがうかがえた（図表2）。

図表2 年代別支給予想

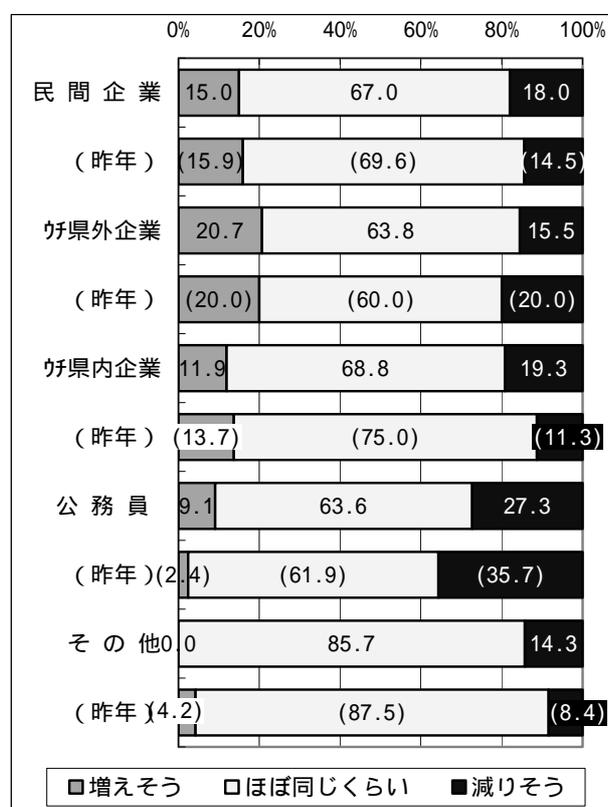


3. 勤務先別予想

勤務先別にみると、県外に本社がある企業では「増えそう」が0.7ポイント増加し20.7%、「減りそう」が4.5ポイント減少し15.5%となっており、業績の好調さがうかがえる。しかしながら、県内に本社がある企業では「増えそう」が1.8ポイント減少し11.9%、「減りそう」が8.0ポイント増加し19.3%となっている。

また、公務員では、民間企業と比較すると依然厳しい見通しながらも、「増えそう」が6.7ポイント増加し9.1%、「減りそう」が8.4ポイント減少し27.3%となっている。先般の人事院による引き上げ勧告に期待が高まる様子が見えたと（図表3）。

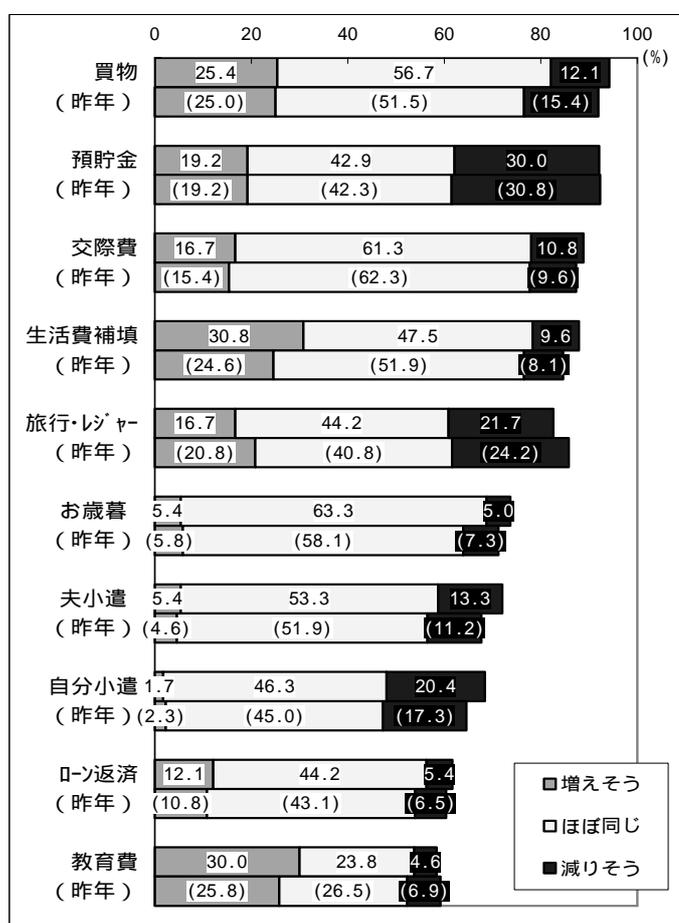
図表3 勤務先別支給予想



4. ボーナスからの支出予定

ボーナスから支出を予定している内容は、「買物」(94.2%)が最も多く、続いて「預貯金」(92.1%)となっている。しかしながら、支出が「増えそう」という回答をみると、「生活費補填」・「教育費」などが昨年を上回っており、旅行・レジャーなどの出費を抑え、それらに回す傾向がうかがえる結果となった(図表4、5)。

図表4 ボーナスからの支出予定



図表5 ボーナスからの支出予定

	支出予定有り (%)	
		前年比
買物	94.2	2.3
(昨年)	91.9	
預貯金	92.1	-0.2
(昨年)	92.3	
交際費	88.8	1.5
(昨年)	87.3	
生活費補填	87.9	3.3
(昨年)	84.6	
旅行・レジャー	82.6	-3.2
(昨年)	85.8	
お歳暮	73.7	2.5
(昨年)	71.2	
夫小遣	72.0	4.3
(昨年)	67.7	
自分小遣	68.4	3.8
(昨年)	64.6	
ローン返済	61.7	1.3
(昨年)	60.4	
教育費	58.4	-0.8
(昨年)	59.2	